

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立天応小学校  
(天応中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+6.4	-0.2	+5.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 72 % 全国 65.6 % 県 67 %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎互いの立場や意図を明確にし、自分の考えをまとめることに課題がある。 (設問1四)【話すこと・聞くこと】(平均正答率53.6%)</p> <p>◇漢字を文章の中で正しく使うことや、表現の技法の理解に課題がある。【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるよう、「～という意見もあったが」「～という考えもあるけれど」などの表現を話し合いの中で用いることができる活動を設定する。</p> <p>◇国語科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、自分の考えを適切に表現できるよう指導する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問1四)の類似問題 (小5, 2月)目標R4全国比+10%→結果+21.2%</p> <p>◇全国学力の出題問題 (小5, 【設問3三イ】, 2月)目標R4全国比+10%→結果+27.5%</p>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 63 % 全国 63.2 % 県 64 %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎◇関数や量の関係を捉え、問題を解決することに課題がある。【小学校:変化と関係(全国平均との差-4.5%)】【中学校:関数(全国平均との差-5.8%)】</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎◇問題解決の方法に焦点を当て、数量やその関係を言葉、図、数、式、グラフを用いて表現させるとともに、それらを問題解決にどう用いたかを明確にして説明させる場を充実させる。</p> <p>◇他教科や総合的な学習の時間において、自分の意見や考えを表現する際に、根拠として「データを活用して論理的に表現する」活動を積極的に取り入れる。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎◇全国学力(「変化と関係」及び「関数」領域)の類似問題(小5, 2月)目標R4全国比+5%→結果+7.4%</p>
<p><b>理科</b></p> <p>本校 69 % 全国 63.3 % 県 66 %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎◇考察や観察・実験を検討・改善することに課題がある。 [小:設問3(4)]【「エネルギー」を柱とする領域】(平均正答率28.6%) [中:設問2(3), 5(3), 6(2), 7(2)](各平均正答率37.5%)</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎◇理科の見方・考え方ははたらかせながら、課題に対しての自分の考えをもたせてから、観察・実験を計画する場面を設定する。その際、「結果の見通し」がもてるように指導する。</p> <p>◇他教科や総合的な学習の時間において、授業で新たに獲得した知識・技能が身の回りで活用されている事例について考えさせる場を設ける。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎◇全国学力の類似問題 (小5, 【設問3(4)類似問題】, 2月)目標R4全国比+10%→結果+16.6%</p>

【来年度に向けて】

各学年の力を確実に身に付けて次の学年に進級できるよう引き続き授業改善に努めるとともに、ドリルタイムやAIドリル等を活用し、基礎・基本の徹底を図る。